

Ⅲ. 中学選択プロジェクト・高校新教科群

選択プロジェクト報告

選択プロジェクト研究部会

【抄録】 本校の併設型中高一貫カリキュラムの中で、中学2・3年は個性探求期として位置づけられている。そして、選択プロジェクトは、個性探求期の生徒に広く浅く教科の授業の「おもしろさ」を提供するものである。この選択プロジェクトの取り組みについて、研究協議会分科会で報告した内容についてまとめたものが本稿である。

【キーワード】 選択プロジェクト 9教科 異年齢集団

1 選択プロジェクト報告

1. テーマについて

本校は、2001年度から併設型中高一貫カリキュラムとして、中学2, 3年生を対象とした少人数選択授業「選択プロジェクト」を設定した。

2. 指導目標

①学習者の興味・関心の掘りおこしや課題追究の機会を与える。

②浅く、広い学習を通して、個を探り、自立と共同の学びを行う。

③各教科を多面的に追究することにより、学習内容を深めたり、学習項目の関連に気づいたり、新たな観点から学ぶ。

④自己の個性を新たな観点から探求する。

⑤選択により学習への動機付けを高め、自己決定の経験を増やす。

3. 指導計画

2003年度は中学9教科から11講座(社会・英語2講座ずつ)を隔週木曜日の5, 6時間目の2時間連続で展開した。各担当者が8回分の授業計画を考案し、生徒向けに講座内容を紹介する。講座の希望をとり、最大20人として可能な限り生徒の希望を実現する。各講座とも、通常の教科授業では時間・人数の制約から取り扱うことができない学習内容を教科の視点で考える。指導計画が実施される。その結果、実験・作品製作・創作活動・発表活動を通して生徒が主体的に取り組む学習内容となり、各教科の観点から深めたい学習内容が計画され実践されていく。

4. 学習方法と形態

講座の展開形態

①2時間連続授業(100分)8回

②中学2年で2回(前期・後期)、中学3年で2回(前期・後期)合計4回の選択(同一講座は選択できない)

③通常の教科授業では時間・人数の制約から充分にできない学習内容を、教科の視点から教師が学習計画を立案する。

④学外講師(大学・市民講師等)とのチーム・ティーチングを積極的に追究する。

5. 評価について

通常の教科にある観点別の評価を基盤に、選択プロジェクトにおける授業目標に合った新たな観点別の評価基準として、次の4つを設けた。

①事象への関心・意欲・態度

②創意工夫する能力

③学習内容をまとめ、表現する能力

④事象についての知識・理解

2 選択プロジェクトの今までと今後の課題

異年齢少人数学習プログラムである「選択プロジェクト」は、今年で3年目を迎え、現在までに約4割の先生が授業者として関わっている。

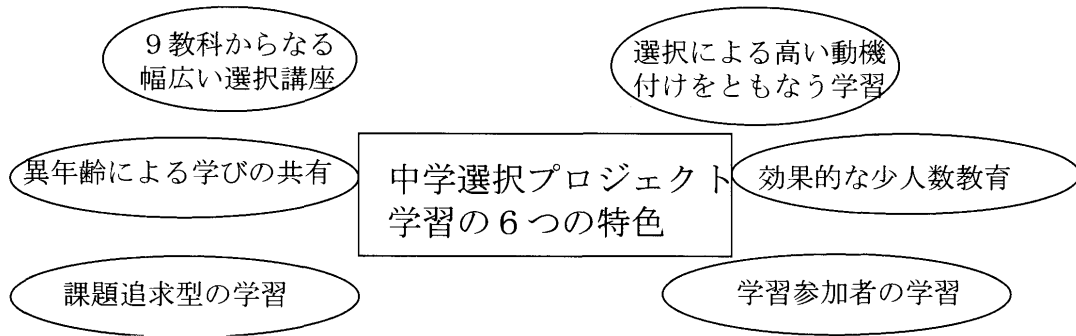
このプロジェクトを立ち上げるにあたっての理念構成や揺らぎと収束については2001年度の名古屋大学附属高等学校紀要46集や、「新しい中等教育へのメッセージ(2003)」に詳細がある。

この選択プロジェクトが、中高一貫カリキュラムの中に深く根付くための今後の課題を考える前に、今までの取り組みやアンケート、外部評価などから考えられる問題点を明らかにする必要がある。そのことを意識した授業者の取り組みとその反省や評価が3, 4年目になされることが必要である。また、それを公開授業や分科会などを通して協議し評価を受け整理して、その後改善していくことで、附属のカリキュラムの中に根付いたものとなり、一般公立校と共有できる成果となりうるであろう。

1. 選択プロジェクトの特色

まず、選択プロジェクトの特色を確認しておく。(2002
附属学校紀要より)

学習の特色



学習の目標・期待される効果

1. 学習者の興味・関心の掘り起こしや課題追求の機会を与えることを目標とする。
2. 浅く、広い学習を通して、個を探り、また自立と共同の学びを目標とする。
3. 各教科を多面的に追求することにより、学習内容を深めたり、学習項目の関連に気づいたり、新たな観点から学ぶことができる。
4. 自己の個性を新たな観点から探求する機会が与えられることになり、自分の個性を探る経験ができる。
5. 選択による学習への動機付けが高まり、また自己決定の経験を増やすことができる。

2003年度選択プロジェクト開講講座と人数

() 内は中2, 中3の人数の内訳 (中2, 中3)

講 座 名	03前期講座人数	03後期講座人数
① 書に親しむ	4人 (4, 0)	10人 (8, 2)
② GISあれこれ	8人 (3, 5)	8人 (6, 2)
③ 歴史を探る	14人 (6, 8)	6人 (6, 0)
④ 数学を作ろう&数学検定にチャレンジ	15人 (4, 10)	12人 (4, 8)
⑤ 身近な化学・生物学	16人 (16, 0)	18人 (15, 3)
⑥ 歌で表現しよう	7人 (2, 5)	18人 (8, 10)
⑦ 立体しりとりでクレイアニメーションをつくろう!	20人 (5, 15)	19人 (8, 11)
⑧ 世界の食文化探求～食のグローバル化を考えよう～	16人 (12, 4)	18人 (6, 12)
⑨ 附属発! 未来のスポーツ	20人 (9, 11)	14人 (5, 9)
⑩ English through the movies	20人 (9, 11)	20人 (6, 14)
⑪ Travel English	20人 (10, 10)	16人 (8, 8)

2002年度選択プロジェクト開講講座と人数

講 座 名	02前期講座人数	02後期講座人数
① すてきで書? 毛筆教室	8人 (4, 4)	6人 (4, 2)
② 地図とまちづくり	8人 (4, 4)	8人 (8, 0)

③ 数研にチャレンジ!	18人 (10, 8)	14人 (10, 4)
④ 身近な化学・生物学	16人 (15, 1)	18人 (6, 12)
⑤ Sense of Wonder	17人 (9, 8)	20人 (8, 12)
⑥ 音楽文化史	11人 (3, 8)	20人 (10, 10)
⑦ 目指せ! デジタルアーティスト	20人 (5, 15)	20人 (15, 5)
⑧ 世界の食文化探求	21人 (1, 20)	18人 (5, 13)
⑨ 附属発! 未来のスポーツ	20人 (9, 11)	21人 (11, 10)
⑩ 英語表現	10人 (9, 1)	7人 (3, 4)
⑪ Dramatic English	11人 (10, 1)	9人 (6, 3)

2. 「2001年度研究協議会」, 「2002年度生徒・保護者・教員アンケート」より

《寺田先生の助言》

ここで、2002.2.21に行われた中等教育研究協議会の分科会での協議に触れておきたい。

の時の助言者である教育学部教育発達科学研究所教授の寺田盛紀先生が次のような点を指摘している。

*評価できる点

- ① 理念が「中学の選択学習が、高校での”新教科”を展望しながらキャリア教育に結びつく」という点
- ② 行動志向で授業設計されている点、生徒がゆとりをもちながら自分の興味・関心を探求することができる点
- ③ 参加型授業である点、生徒が主体である点

*課題点

- ① 「選択」の目的・・・知識・技能・興味の深化大いに個別性を発揮すべきである。
- ② 「ねらい」の単純化・・・生徒アンケートの結果からみて、教科の基礎・基本と異学年生徒の学習はやや矛盾しているか。
- ③ 「新教科」との接続・・・”9教科から2年間で4講座”は、興味・関心の拡散を起こしかねない。

《アンケート》

一方、生徒と教員・授業者が共に感じていることを簡潔にまとめると次の点であることが、2002.10に実施した「生徒・保護者・教員アンケート」からうかがえる。

- ① 通常の教科で扱うことができない学習内容・学習方法で展開している。
- ② 「基礎・基本」との関連はあまり感じない。
- ③ 興味・関心が高まる。
- ④ 異年齢集団の効果は、教科・内容による。

《授業者より》

授業者からは次のようなことが指摘されている。

- ① 隔週2時間の授業のため、連続性がない。
- ② 年齢差を生かす授業展開を考えるのは難しい。(特に個人作業中心の教科)
- ③ 新たな観点から学び直したり、通常の授業とは異なるアプローチの方法で教科の内容を深めることができる。
- ④ 様々な形で、大学や他機関との連携が考えられる。

3. 今後の課題

今年度に関しては、前期が終わっていないので、上記のことを踏まえた上で簡単な生徒アンケートと授業者の反省・意見交換を行う予定である。

・異年齢学習は、体験学習として全国でいろいろな形の実践がある。教科としてカリキュラムの中に根付いているものはまだ少ない。一方で、授業者も生徒も、今一つ明確に異年齢学習の効果を出せない現状もあるように思える。

・新教科との系統性を明確にすることで、個性探求期と専門基礎期の教科シラバスとの関わりが明らかになり、教科の授業へのフィードバックがより明確になる。

・評価に関して、教科の具体的観点の検討が必要である。

3 選択プロジェクト前後期ふりかえりアンケート記述集約

2003. 12実施

選択プロジェクトの学習を通して、自分の意欲・関心や教科への興味などはどのように変化しましたか。

《中学2年生》

- ・意欲や関心が高まった (英・理)
- ・普段の授業では基本が中心なので発展的なことも自分でかंगाえてみようと思った (英・英)
- ・選プロが楽しみになるほど高まった (英・音)

- ・授業で軽く流していったことを選ブではきっちり学習できたこと (理・社)
 - ・国語では、筆で字を書くのもいいなと思いました (国・理)
 - ・少し違った見方ができて、普段でもいろんな見方に目がいくようになった (社・英)
 - ・選ブでやったことが、授業でやったりしないか探すようになった (理・社)
 - ・ますますその教科が好きになった (家・美) (英・音)
 - ・こんなのもあるんだな、と感心した (体・理)
 - ・もっといろんなことにチャレンジしたり、そのことについて深く調べたくなった (理・数)
 - ・いろんなリズムで歌ったり、手拍子をつけたりして歌うことで「音楽」のことがちょっとわかった? (英・音)
 - ・ただ教科書を見ているだけでなく、実際にさわってみたりやってみたりすることで、興味がわいてきました。(家・社)
 - ・その教科についてくわしく知りたいことが増えた(家・社)
 - ・今まではただ実験してみたいと思っただけで、今は、その結果などが詳しく知りたいと思った (体・理)
 - ・いままでよりさらに興味がわいた (英・音) (理・英) (国・社) (英・数) (理・体) (数・家)
 - ・英語での日常会話の基礎が身についた (英・社)
 - ・楽しめるようになった (体・理)
 - ・粘土工作がうまく作れたので、意欲・関心・興味は増えた (国・美)
 - ・理科は、より楽しい教科になった (理・社)
 - ・日本は世界に誇れる (家・国)
 - ・習字で何か書きたい。外国に行ってみたい。(英・国)
 - ・もっとつきつめて制覇しようと思うようになりました (音・国)
 - ・漢検・数検・英検をやろうかなあと思うようになった (数・理)
 - ・授業がわかるようになったので、楽しくなった (数・音)
 - ・「考える」ようになった (体・音)
 - ・その1つの教科に対して、より深く考えることができたのではないかと思う (音・美)
 - ・どれも楽しいので自分の関心が高まった (理・美)
 - ・前から好きな教科だったけど、もっと好きになった (家・数)
 - ・もっともっと他の国の食べ物を食べてみたいです(家・社)
 - ・授業では学習しないことを学習したので、それを授業で生かせるようになった (体・社)
 - ・いろいろなことをもっと知りたいと思えた (理・家)
 - ・もっと映画を見ようと思った (社・英) (英・英) (数・英)
 - ・英語の映画は字幕でみたくなった (理・英) (英・美)
 - ・もっと英語をやりたいと思った (もっと話せるようになりたい)。いろんなことを深く知りたいと思った (英・社)
 - ・体育の新スポーツへの考える意欲が高まった (体・家)
 - ・選択プロの授業が楽しいので、意欲・関心が出る (英・国)
 - ・音楽を見る目が、前にも増して良くなった (体・音)
 - ・毎回いろいろなことをやることによって、その教科をいろいろな面から見ることができた (家・国)
 - ・数学をもっと深く知りたいと思った (理・数)
 - ・ちょっと好きになった (体・家) (英・体)
 - ・ちょっと詳しいことが学べるから楽しい (美・家)
 - ・授業では聴けないような事 (話し) ができておもしろくなった (理・英)
 - ・字を書く楽しさや、外国に行ったときどんなことをしゃべればいいかなどの関心が高まった (国・英)
 - ・ふつうの授業よりとても真剣に取り組めて、毎週選ブを楽しみにするようになった (家・体)
 - ・毎回新発見ばかりあって学べるので、疑問が増えます。(英・理)
 - ・社会では、古代文字でかかれた歴史の本を読んでみたくなったし、英語では、いろいろな人と英語で話したくなった。(社・英)
 - ・音楽は嫌いだったが、楽しくなった。(家・音)
 - ・実験が好きになった。理科が楽しくなった。(英・理) (理・社)
 - ・美術はもともとな教科だった。英語はそこまで好きではないけれど、テストでリスニング問題が解けるようになった。発音クリニックのおかげで違いがわかりやすくなった。(美・英)
 - ・実験が好きになった。理科が楽しくなった。(英・理) (理・社)
 - ・楽しかったので多少教科に興味をもった (英・英)
 - ・特にかわっていない・・・・・・14名
- 《中学3年生》
- ・前後期ともに、もっと上の技術を身につけたいと思った (美・体)
 - ・とても興味・関心が高まりました。(社・数) (体・美) (家・体) (音・体) (社・英)
 - ・高校で習字がやってみたくなくなった (体・国)
 - ・英語は、ただ読むだけでなく、話したり、発表したり聞き取ったりして、英語の楽しさを知ることができました (英・家)
 - ・後期の家庭科では、料理が好きになったし、いろんな国の伝統料理などを調べていくうちにこういう事をするのもおもしろいな、と感じた (体・家)

- ・先生と親しくなった (美・家)
- ・今までは”遊び”みたいな感じだったけど、将来のことを考えるきっかけとなったり、コミュニケーションをはかれる場となったりして意欲的になった (英・家)
- ・1つの社会という教科の中にもいろいろなものがあるんだと感心した。数学は問題が解けるとうれしい。もっといろいろな問題を解いてがんばれるといい (社・数)
- ・体育はもともとあんまり好きじゃなかったけど、楽しみ方がわかってちょっと好きになった。家庭はもともとすごい好きだったから、選ブはすごくやりやすく、もっと好きになるには・・・と考えるようになった。(体・家)
- ・選ブの学習以前から英語にはかなり興味があって、勉強と言うよりは趣味に近かったので、選ブの内容が僕の英語の意欲・関心をこれ以上高めるきっかけにはならなかった (英・英)
- ・単語の細かい発音をきちんと言いたくなったり、数学検定をうけてみたくなった (英・数)
- ・料理は、その国々の文化や考え方や心にまで通じている！ (社・家)
- ・家にDVDがあるので、いままで日本語字幕だったものを英語字幕で見ようとするきっかけになった (美・英)
- ・教科でやっていることとは違うので教科への興味とはあまり関係がない。自分の中では好きな教科だから、楽しい (英・英)
- ・現実が見えてきて、自分の関心が少し減った (美・音)
- ・「英語を実用的に使う」を考えるようになった(英・英)
- ・授業でやらないことをやって、もっと知りたいと思った (数・音)
- ・料理なんて学校の実習だけで「つくる楽しさ」がいまいちよくわからなかったけど、夏休みの課題で最初から最後まで一人でやってから、手作りの良さを思うようになった (家・理)
- ・自分が選んだ選ブなので、その教科により一層関心や興味が高まった (家・体)
- ・授業を受けるのがより一層おもしろくなったと思う (数・体) (数・国)
- ・数学では「無限」という簡単そうで難しいものを勉強して数学についてもっと知りたいと思った (体・数)
- ・選択プロジェクトによって選択した教科をより深く理解することができたので、普段の授業も以前より興味深いものになった (英・音)
- ・その教科を学校で習っている意味がなんとなくわかったような気がした (体・家)
- ・自分的にあまり好きではない科目だったのだが、やっていくうちに (専門的なことをやるので) おもしろくなり、楽しかった。(数・美)
- ・選ブをやってから、その教科についてもっと深くどんどん学びたい、やりたいと思えるようになった楽しく感じた (英・音)
- ・自分にとって好きな科目は意欲関心が高まったが、それ以外は何も変化がなかったと思う (数・美)
- ・興味があれば、もっと他のことにチャレンジしてみようと思った (社・英)
- ・もっとパソコンのことを知りたいと思った (社・美)
- ・英語が前よりおもしろく感じられる (美・英)
- ・普段の授業よりも違ったことができるので、その教科のことがもっとよくわかったので、他のものももっとやってみたくなった・興味がわいた (美・家) (体・英)
- ・深く知りたいなあ・・・っていうのと、もうこれはやりたくないなっていう2つになる。選ブでその教科をくわしく知ったからこそ、本当に自分がしたいことがわかったと思います。(英・美)
- ・ちょっとだけ関心をもつようになった (美・英) (数・体)
- ・体育は、勝つのにこだわらず、心の成長をしたし、家庭科は料理のたいへんさがわかった (体・家)
- ・普段の授業などでやらないことが多いので、その教科に対して違った方向から見ることができ、少し関心が高まったと思う (社・数)
- ・口語に関する英語には興味を持った(音・英) (美・英)
- ・英語の映画は字幕でみていたが、がんばって聞いてみようと思った。体育は、男子との力の差を少し感じた。けど、スポーツを考えるっておもしろいと思った (英・体)
- ・みんなと同じことを同じようにやる普段の授業とはまったく異なり、違うからこそ意欲も高まるんだと思う (美・英)
- ・英語を話すということが、少し楽に感じられるようになった (英・英)
- ・知識が深まった (英・英)
- ・普段の教科でも、より意欲がわくようになった (音・家)
- ・「あっ、このところを前に選ブでやった」と思い、「たしかこうだったな」と思い出したりして選ブ&授業でみんなのとらえ方がどう変わるかを見られるようになった (社・音)
- ・家庭科の選ブを通して、料理をつくることに対して少し興味が出てきた。以前は食べるだけって感じだったが、自分で作るということが楽しいと思い始めた (美・家)
- ・自分の好きな教科を選んだから、もっとその教科について考えてみたいと思った (英・音)
- ・映画を見ていたら、この英語が全部わかったらいいなあと思って辞典とかよく見るようになった(英・英)

- ・授業で学んだことの、そのまた奥深くを考えるようになった (社・体)
- ・実際に数学検定を受けたり、体育はとても気楽にやっています。意欲をもって取り組めたし、関心をもてた (数・体)
- ・特に変化はないが、普通の授業よりは楽しいと思う (美・音)
- ・時間があつたら自分で調べたいし、料理は楽しいと思ひ始めた (社・家)
- ・普通の授業とは全く違う、という感覚 (体・美)
- ・映画で話している表現が少し理解できるのがおもしろかった (英・英)
- ・もともと好きな教科なのであまり変わらない (英・美)
- ・あまり変わらない。たいして変わらない……………10名

選択プロジェクトの問題点や、「こうなるともっと良い」という要望を書いて下さい。

《中学2年生》

- ・2年と3年のバランスが悪いところがあるので、もっとバランスをよくするとよい。
- ・今のままでいいです。でも新しい講座もほしいです。
- ・今のままで十分満足。(3)
- ・女子で2年1人とかはつらい……………
- ・説明をもう少しわかりやすくしてほしい。
- ・先生を増やした方が、もっと少人数になり効率が良いと思う。
- ・もっと明るい雰囲気になるとよいと思う。
- ・もっと時間がほしい。
- ・もっと自分たちで考える時間がほしかった。
- ・もっと時間・回数を増やしてほしいです。
- ・もう少し班の人数を増やしたらよいと思う。
- ・先輩との差のようなものが多いので、もっと2年3年いっしょに取り組めるものがない。
- ・宿題とか提出なしでもっと軽い気持ちでやりたい。
- ・お金がかかると少し抵抗がある。(2)
- ・好きな科目を何度でも選択できるようにしてほしい。
- ・もっと時間をかけてやりたいです。
- ・仲のいい人で固まるのはよくない (特にグループで何かをする場合)
- ・第1希望が簡単に通るとよい。
- ・もっと科目が増えるといいなあと思いました。
- ・人数を均等に分けた方がいいと思う。2年と3年の接触がない教科があるのでそれはやめた方がいい。
- ・もっと別の教科を組み込む。
- ・先輩ともっと仲良くなるべき。
- ・1つのプロジェクトの人数をもっと限定した方がいい。

- ・時間が増えるといい。
- ・もう少しいろいろな種類の講座があればいい。(2)
- ・もっと学校の外に出て行きたい。
- ・今のままでよい。
- ・同じ学年で固まりたい。
- ・同じ教科を2度できるようにしてほしい。
- ・少し暇な時間があるので、もう少し工夫してほしい。
- ・もっと授業の回数を増やしてほしい。
- ・同学年の女子がいるともっとよい。体育は中2女子が1人だったので……………
- ・中1からやるべきだ。

《中学3年生》

- ・教室内で3年と2年を分けずに、混ぜてやったほうがよい。
- ・授業数を増やしてほしい。
- ・他学年ともっともっと仲良く学習できるようになるといい。(2)
- ・このままで十分だと思う。
- ・もっと2年と3年が親しくなれたらいい。
- ・もっと選択肢をふやしてほしい。
- ・今のままでいい。けど、毎週土曜日になったらもっといい。
- ・今は講座によって2年が多いとか3年が多いとかあるけれど、2つの学年の人数や男女の数をもっと平等になればいいと思う。
- ・毎週やれないか。
- ・回数が少ない。
- ・もっといろいろな講座があると楽しみが増える。外部の方を講師として招いたりしてほしい。
- ・他学年との人数割合を考えてほしい。
- ・最近の流行をいれてほしい。
- ・生徒がいっぱい活動するようにしてほしい。
- ・選ブのせいで、総人で学校に残ることが増えた。時間が足りなさすぎる。
- ・もう少し多い種類で期間を長くしてほしい。
- ・案内プリントをもっとくわしくしてほしい。
- ・それぞれの講座の人数を募集のときにきめておいてほしい。
- ・今のままで十分。
- ・回数が少なすぎる。前後期で講座を変えずに1年間同じ教科でいいと思う。
- ・他にもとりたい講座がいっぱいあり、できなくてもいい。
- ・総人と交互にやっているので、前回やった内容を忘れてしまう。土曜日がほしい。
- ・中2でやったものを中3でできるようにするとよい。
- ・もっと時間を増やしてほしい。
- ・映画を作るための選プロも作ってほしい。

選択プロジェクト報告

- ・全体的にこのままでよい。
- ・1度やった教科が次の年もダメなのはいやでした。なんとか毎年内容を変えてやってほしい。プリントだけでは、選プのおもしろさはわかりにくいと思いました。
- ・前期と後期で少しだけ内容を変えてみると良いかもしれない。
- ・もうちょっとだけ期間を長くして、内容を完結できるとよい。
- ・中2が1人というのは問題があると思う。
- ・生徒のやりたいことをもっとやらせる。
- ・とくになし。毎時間すごく楽しかった。
- ・他学年がいるとちょっとやりづらい。
- ・第1希望をなるべくとれるようにしてほしい。2年生が遠慮しなくていいような魅力的な授業内容にしてほしい。
- ・もっと心ひかれるような講座がほしい。
- ・内容や進め方がマンネリ化しないようにしてほしい。
- ・もっと1講座の人数が同じくらいで、少なくなると思う。
- ・実習をもっと増やしてほしい。

- ・2週間に1回で授業と授業の間が離れているので、何を前にやったか忘れる。もう少しまとめてやった方が、よりいろいろなことを理解できると思う。
- ・教師や教室の数に無理があると思うけど、講座を多くして、もっと少人数でやった方がいい。
- ・お金がかかるのはやめた方がいい。
- ・時間数(回数)がもっとあるといい。
- ・1番はじめに生徒の意見を採り入れて、半期のテーマや内容を決めたらいい。
- ・もっと選プの意味・目的を考えさせるような授業の方がいいと思う。

あなたの今年の前後期の講座は、第何希望でしたか。
また、どのような観点で希望講座を決めましたか。○をつけて下さい。(複数可)

- ・好きな教科
- ・案内プリントの内容が面白そう
- ・将来に関係するかも
- ・友達と相談して

	中2(前期, 後期)	中3(前期, 後期)	全体
好きな教科	88(47, 41)	86(40, 46)	174 43%
案内プリントの内容が面白そう	69(33, 36)	65(39, 26)	134 33%
将来に関係するかも	16(10, 6)	28(11, 17)	44 11%
友達と相談して	18(6, 12)	32(17, 15)	50 13%

*その他の回答

- ・内容に興味があったから(複数)
- ・なんとなく、消去法、今までにやりたいのをすべてやってしまったから(複数)
- ・パソコンが使えるから
- ・他と少し違っていそうだったから
- ・友人・兄弟・前にやっていた人のすすめ(複数)
- ・苦手な教科だったから、意欲がわけばいいなと思って(複数)

(選択プロジェクト研究部会)